

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1956 号

Promoter-level transcriptome in primary lesions of endometrial cancer identified biomarkers associated with lymph node metastasis

(子宮内膜癌の原発病変におけるプロモーターレベルのトランスクリプトームからリンパ節転移に関連するバイオマーカーを同定した)

吉田 恵美子 (よしだ えみこ)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

子宮体癌の治療は手術が基本であるが、術前の確立したリンパ節転移診断は現時点では存在せず、転移診断のためにリンパ節郭清の実施が推奨されている。この結果、リンパ節に転移が見られなかった場合、リンパ節郭清の実施は過剰であったこととなり、治療的意義には乏しいだけでなく、術後の日常生活が著しく妨げられる原因となっている。この臨床上的問題点から本研究は着想され、CAGE 法による遺伝子発現網羅的解析によって、SEMA3D と TACC2 新規アイソフォームが子宮体癌のリンパ節転移診断のバイオマーカーになりうることを明らかにした。この手法は従来のリンパ節廓清の実施を判断するための臨床的パラメーターとは異なり、原発巣の遺伝子発現評価に基づいてリンパ節転移を診断する新しいアプローチをとっており、非常に有意義なものである。本論文で同定されたバイオマーカーは、LN-/LN+識別能評価では、 $AUC = 0.929$  と非常に高い識別性能を認めており、リンパ節転移陰性の再発低中リスク群に対する過剰なリンパ節廓清の回避を実現する診断法開発の可能性を示すものであるといえる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。